

地域の協議体とは・・・

いろいろな人が集まって将来の自分や家族、友人、知人、地域の人のため何ができるかを一緒に考え、お互いさまの気持ちを持ちながら支え合うことができるよう話し合う仕組みが地域の協議体です。



◇協議体では何を話すの？

地域の強みや特色、今やっていることや無理なくできること等、その地域ならではの支え合いの仕組みづくりをできる範囲で話し合います。「やらねばならない」ではなく、「こんなことができたらいいね！」「あったらいいね！」の気持ちを大切に、みなさんと一緒に「ワイワイ・ガヤガヤ」と話し合しましょう。

◇誰が協議体のメンバーになるの？

地域の実情に応じて、以下の多種多様な方が協議体のメンバーとなる可能性があります。（関心のある方であればどなたでもOKです。）

- ・地域住民（ボランティア、地域活動者、住民団体等）
- ・地域の関係団体（自治会、民生児童委員、ゆめクラブ、交番等）
- ・地域で生活支援サービス等を提供する事業者等（商店、NPO、社会福祉法人、社会福祉協議会、民間企業）など

なお、協議体のメンバーに特段の資格・要件等はありませんが、協議体の性質上、以下のとおりいくつか望ましいとされる資質等があります。

- ・地域における支え合いの仕組みづくりの視点を持ち、答えがないことに対してともに建設的に考えられる方
- ・地域における支え合いのために各々の役割を考え、主体的に参画できる方など

◎地域の協議体のメンバーを随時募集中です。

興味のある方がいましたらお声かけをお願いします！

誰もがいつかは高齢になります。病気やけがをすることもあるかもしれませんし、いつも家族が近くにいるとは限りません。そんな時に「ちょっとお願い」「手伝って」「お互いさまだからいいよ」と言える、地域全体がみなさんの居場所となるように、「ワクワク・ドキドキが溢れる地域」を目指しましょう。地域づくりは長い時間がかかるため、お子さんから若い世代も一緒に取り組んでいくことが大切です。地域をつくるのはみなさん一人ひとりです。